

一七八九	寛政元年
一七九〇	寛政二年
一七九三	寛政五年
一七九六	元禄九年
一八〇四	文化元年
一八〇七	文化四年
一八〇九	文化六年
一八一〇	文化七年
一八一九	文政二年
一八二〇	文政三年
一八二二	文政五年
一八二七	文政十年
一八三七	天保八年
一八四一	天保十二年
一八四五	弘化二年
一八四六	弘化三年
一八四九	嘉永二年
一八六三	文久三年
一八六八	慶応四年

下荒井観音堂に観音堂建立の棟札あり。

下米塚新田を開く、本田新田水災にあって、現在の位置に移る。

下荒井宝寿院の僧、白山清水辺に宝寿という開墾部落をつくる。

六月二十八日湯川、大川洪水。

鷺林用水を岩崎堰より引入れることを願出る。

中荒井村風俗帳書上げ。

新編会津風土記完成、幕府へ献上、

郡奉行所を廃し、郡役所と改め、代官派出される。

真渡西光寺に、この年の繪旨がある。

高田駅に検断が置かれる。

二日町牧原家、会津藩家中より移る。

真渡西光寺に、同年付の祈願書あり。

間引き防止のため「子孫繁昌手引草」を各村へ配布する。

住居制限約簡条書配布される。

小松獅子舞阿部大和守、石河但馬より、下小松覚法院宛免許あり。

小出の宝光院再建、鷺林部落長岩崎堰開さく願出る。

奉公人のしきせ（四季施）の達しを出す。

下小松稻荷天官正一位を授けられる。

明治元年になる。若松城落ちる。やあやあ騒動起る。